

授業の実際 3 / 9

(1) 指導目標

「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて合唱することができるようにする。

(2) 展開

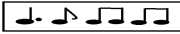
過程	学習活動	教師の指導 (○)、支援 (●)、発問 (★) 児童の主な反応 (・)	評価規準と評価方法
導	0 音楽遊びをする。	○ケチャのリズム遊びをして、楽しく学習が始められるようにした。	
入	1 めあてをつかむ。	○「星の世界」の範唱を聴き、三部合唱のイメージをつかませるようにした。	
/	互いの声を聴き合って、美しい響きの三部合唱をしよう。		
展	2 和声の響きを感じ取りながら、歌い方を工夫する。 (1) 担当するパートを選ぶ。	○グループごとに工夫をした後で、全体で歌い方の工夫することを伝えた。 ○主な旋律を担当したグループには、1・2時目の学習を生かして取り組むように伝えた。	
展	(2) グループごとに工夫するポイントや気を付けることを話し合う。	○1つの旋律になる部分と3つの旋律が重なる部分に分けさせ、それぞれの部分について工夫を考えることができるようにした。 ○前時までの工夫を基に、工夫を重ねる必要があるポイントを2～3つ決めさせた。 ○グループごとに気を付けることについて考えさせ、練習に目的をもって取り組むことができるようにした。 ○工夫するポイントや気を付けることの例を示した。	
開	<p>工夫の仕方の例</p> <p><工夫するポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌い出しが、正しい音程になるようにする。 <p><気を付けること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前奏をよく聴いて、はじめに出す音の高さを心でイメージする。 <p><確認の方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの音だけを伸ばして、正しい音程になっているか練習する。 ・キーボードで音を確認しながら工夫する。 		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>発問の工夫④</p> </div>		
	<p>★「声が響き合う」「声が溶け込む」ように、それぞれの工夫のポイントについて、どのようなことに気を付ければよいと思いますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><工夫するポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1小節目と3小節目の歌い出しが遅れないように歌いたい。 <p><気を付けること></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌い出す前のブレスを合わせるようにする。 </div>		

展

<工夫するポイント>

- ・ 8回反復される  のリズムがずれないように歌いたい。

<気を付けること>

- ・  のリズムを手拍子で確認して、リズムを正しく正しくつかんでから歌う。

<工夫するポイント>

- ・ 歌い出しをはっきりと声を出して、正しい音程で歌いたい。

<気を付けること>

- ・ はじめの音だけを伸ばして、正しい音程になっているか確認する。

<工夫するポイント>

- ・ 3フレーズ目の2番目の音が下がらないように歌いたい。

<気を付けること>

- ・ 音が下がっているときは、目を大きく開いて、頬を引き上げるようにして歌う。

- (3) グループで歌い方を工夫する。

- 工夫するポイントと気を付けることをワークシートに記入させた。
- 歌い試しながら、気を気を付けることを考えることができるようにした。

- ワークシートに自己評価をさせながら表現を工夫させ、目的意識をもつことができるようにした。

- ペアや個人で練習できる場所を設けていることを伝えた。

- グループで聴く側と歌う側に分かれて感想や助言を伝え合うように指示した。

- グループに1台ずつキーボードを準備し、自分たちで音を確認しながら自主的に練習ができるようにした。

- 本時で考えた工夫や友達や指導者からの助言は、2時目のワークシートに直接書き加えてよいことを伝えた。

発問の工夫④

- (4) 三部合唱をし、全体で工夫するポイントを確認する。

- 三部合唱をして、全体で工夫するポイントや気を付けることについて考えさせた。

★「声が響き合う」「声が溶け込む」ように、それぞれの工夫のポイントについて、どのようなことに気を付ければよいと思いますか。

<工夫するポイント>

- ・ 主な旋律が目立つように音量の工夫して歌いたい。

<工夫の仕方>

- ・ 主な旋律を強く、副次的な旋律を弱めにしてバランスよく歌う。

開

展	<p><工夫するポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶け込むような合唱にするために、独特な声は出さない方がよい。 <p><工夫の仕方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地声ではなく、頭声を心掛ける。 		
	<p><工夫するポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3フレーズ目は全員で歌い方を合わせたい。 <p><工夫の仕方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フレーズの真ん中に山をつくるように、みんなで強弱を合わせる。 		
開	<p>(5) 全体で歌い方を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体の響きを聴いて、更に工夫が必要だと気付いた点を発表させ、全体で共有できるようにした。 ○ 互いのグループの工夫点や良かったところも発表させ、自分たちのパートに生かすことができるようにした。 ○ 時間短縮のために、部分的に練習をさせた。 ○ 互いのグループで感想や助言を伝え合わせ評価させながら工夫させた。 ● 自分の声を友達の声と調和させて合唱することができない児童には、適宜、個別で技能の習得につながるような助言を行うようにした。また、ペアで個別に工夫ができる場所を設け、友達と練習ができるようにした。 	<p>「星の世界」の各声部の歌声や全体の響きを聴きながら、自分の声を友達の声と調和させて合唱している。 【技① ワークシート・演奏聴取】</p>
	<p>(6) まとめの三部合唱をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 録音して三部合唱を聴かせ、成果を自覚できるようにした。 	
／ ま と め	<p>3 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時は、「雨のうた」の合奏に取り組むことを確認した。 ○ 本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めさせた。 	